

生涯学習・社会教育 はどこへ向かうのか

文部科学省組織再編のもとで

志々田まなみ@国立教育政策研究所
shishida@nier.go.jp



第三期教育振興基本計画 (平成30年6月閣議決定)

- 5年ごとに政府として策定する教育振興に関する総合的な計画
(教育基本法により策定が義務付けられている)
- 5つの基本的な方針、21の目標、測定指標、参考指標、施策群
- 第二期計画を継承し、「自立、協働、創造」を実現するための教育政策
- 「可能性」と「チャンス」の最大化がキーワード

総合教育政策局の新設(再編の概要)

総合的な教育改革を推進するための機能強化

【～平成30年10月15日】

【平成30年10月16日～】

生涯学習政策局 (6課 1参事官)

再編

総合教育政策局 (7課)

政策課
生涯学習推進課
情報教育課 **学校における情報教育**
社会教育課
青少年教育課
男女共同参画学習課
参事官(連携推進・地域政策)

初等中等教育局 (10課 1参事官)

国際教育課 **海外子女教育**
健康教育・食育課 **外国人児童生徒**
教職員課 **学校安全**
参事官(学校運営支援担当) **全国学力・学習状況調査**
コミュニティ・スクール

高等教育局 (8課 1参事官)

大学振興課 **教員養成**

政策課
教育改革・国際課
調査企画課
教育人材政策課
生涯学習推進課
地域学習推進課
男女共同参画
共生社会学習・安全課

初等中等教育局 (9課 1参事官)

情報教育・外国語教育課
参事官(高校担当)

高等教育局 (8課 1参事官)

※総合教育政策局に係る主要な再編のみを表示

「地域学習」とは何か

- 「地域を学ぶ学習」だけでなく、
すべての人々が「地域で学ぶ学習」の推進
- 子供と大人の学びを好循環させる
教育体制の構築：地域学校協働活動
(学校教育・社会教育に関わる教育行政の再構築)
- 多様な他者ととともに協働しながら学ぶ、
Society5.0にむけた教育活動の開発
：「社会に開かれた教育課程」
： 地域の課題解決学習 の融合

広島県府中市立国府小学校・国府公民館の取組

地域の祭（公民館祭り）と小学校の行事を合わせた「国府演JOY祭」を立ち上げ、その企画・運営を、総合的な学習の時間とで行った。

自分たちが楽しいお祭りはなにか？を出発点としながら、地域住民の聞き取り調査や協議を重ねる中で、地域住民がつながるきっかけとなるイベントにするには何が必要なのか？という深い学びへと。地域の人々もまた、子供たちとともに地域のつながりについて学び始めている。

（平成30年度「ひろしま教育の日」フォーラムの日に関する広島県教育委員会webサイト参照）

島根県鹿足郡吉賀町蔵木地区の取組

地元の中学校の統廃合により、地域のつながりが薄くなっていかないよう、また子供が豊かに育ことを支援し続ける地域でこれからもあり続けることを広くアピールするため、公民館が中心となりすすめる地域ぐるみの次世代育成活動（サクラマスプロジェクト）の一環として、「蔵木音頭」を作成。地域住民で作詞を考え、地元小学校長が作曲、演奏、地元保育園の保育士が振り付け、地元住民のプロ歌手が歌唱を担当し、長年開かれていなかった盆踊り大会も復活。映像は故郷を離れた人たちも見られるよう、YouTubeで公開中。https://www.youtube.com/watch?v=5Yy9tI_VcdM

おわりに

－生涯学習・社会教育はどこに向かうのか？－

学びによる「協働」を推進してきた先達として、生涯学習振興・社会教育行政が積み残している課題にいま一度目を向けなければ！

- ： 自前主義の脱却、民間セクターとの協働、支援
- ： ネットワーク型行政の構築
- ： 多文化共生社会の実現、子供の安心・安全をささえる家庭教育支援の推進、障がい者の生涯学習推進、高齢者の地域参画、社会人の学びなおし、防災学習の推進etc…